

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理または交換をさせていただきます。
    - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、製品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。ただし消耗品・付属品は除く。
    - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。
  - ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご連絡ください。
  - ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、カスタマーセンターへご連絡ください。
  - 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
    - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
    - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
    - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
    - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
    - (ホ) 一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
    - (ヘ) 本書の添付がない場合。
    - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
    - (チ) 持込修理の対象製品を直接カスタマーセンターへ送付した場合の送料等はおお客様のご負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様のご負担となります。
    - (リ) 個人または事業者などから個人間売買やオークションや転売、その他類似する方法で取得された場合。
  - 本書は日本国内での使用においてのみ有効です。
  - 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 消耗品・付属品は保証の対象外です。

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

## récolte® レコルト 全自動エスプレッソコーヒーマシン 保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合には本書上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票上記に記載しております。

保証期間	お買い上げ日より	本体1年間	お買い上げ日	年	月	日
お客様	ご住所 〒	—	販売店	住所・店名		
お名前		様				
電話 ( )	—		電話 ( )	—		

ウィナーズ株式会社  
製品についてのお問い合わせは下記まで  
カスタマーセンター TEL.03-6662-7100 受付時間 10時~12時/13時~16時(土日祝日を除く)  
住所 〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-18-12 ソーケンビル4F

This product is for use in Japan only. Do not use outside Japan.

This warranty is valid only in Japan.

BA-REC1-07-2601

JPN

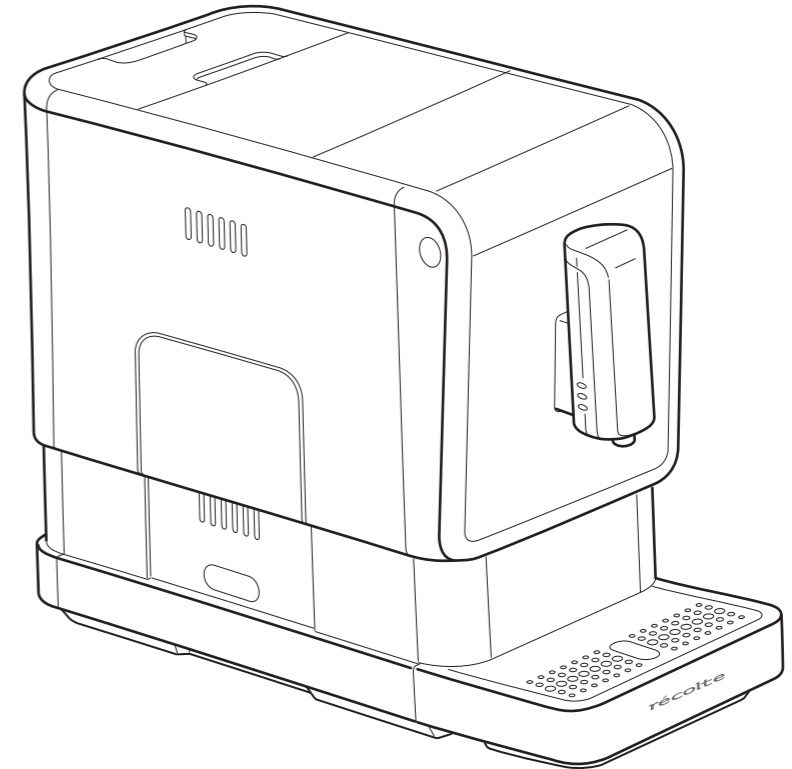
récolte®

# Fully Automatic Espresso Coffee Machine

レコルト

全自動エスプレッソコーヒーマシン

REC-1



## 取扱説明書

この度はレコルト 全自動エスプレッソコーヒーマシンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後も、大切に保管してください。

This product is for use in Japan only. Do not use outside Japan.

## INDEX

安全上のご注意	1-3	その他の機能	12
各部(パーツ)の名称	4	エラーマーク表示/解除	13
操作パネル・マーク	5	お手入れのしかた	14-22
初めてご使用になる際、		故障かな?と思ったら	23-24
またはしばらく使わなかったときに	6	仕様	24
ご使用前の準備	6-7	無料修理規定/保証書	裏表紙
コーヒー/お湯のいれかた	8-11		

JPN


## 安全上のご注意


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。  
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


**警告** この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。


 この表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。


 この表示は、注意を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。


## 警告

### 電源プラグ・電源コード

 **濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作したりしない。**  
感電・けがの原因。  
濡れ手禁止

 **動作中に電源プラグを抜き差ししない。**  
故障の原因。  
禁止

 **電源コードは破損したまま使用しない。傷つけない(無理に曲げる。引っ張る。ねじる。束ねる。高温部に近づける。重い物をのせる。挟み込む。加工するなど)。**  
破損し、火災・感電の原因。  
破損した場合は、カスタマーセンターに相談してください。  
禁止


 **電源プラグは、交流100Vで「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む。**  
火災・感電の原因。  
必ず行う

**定格15A以上のコンセントを単独で使用する。**  
発火の原因。

**乳幼児が電源プラグを誤ってなめないように注意する。**  
感電・けがの原因。

**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**  
感電・ショート・火災・発火の原因。

**電源プラグにピンなどの金属片やゴミを付着させない。**  
感電・ショート・火災・発火の原因。


 **電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。**  
感電・ショート・発火の原因。


**電源プラグに蒸気を当てない。**  
感電・ショート・火災・発火の原因。


**交流100V以外では使用しない。**  
火災・感電・故障の原因。


**異常時(焦げ臭い、発煙など)は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、使用しない。**  
火災・感電の原因。

### 本体・パーツ

 **改造・分解・修理をしない。**  
火災・感電・けがの原因。  
修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターに相談してください。  
分解禁止


 **本体やプラグ挿入口に水をつけたり、水をかけたりしない。**  
火災・感電・ショート・故障の原因。  
水濡れ禁止

 **使用中や使用後しばらくは、本体・抽出口付近などの高温部に直接触れない。**  
やけどの原因。  
接触禁止

 **カーテンなど可燃物の近くで使用しない。**  
火災の原因。  
禁止

**子供や補助を必要とする人など、取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、子供や乳幼児の手の届くところで使わない、触れさせない、保管しない。**  
感電・けが・故障の原因。


**本体に水タンク・抽出ユニットを確実に取り付け。使用中に触れたり外したりしない。**  
やけどの原因。

 **お湯またはコーヒーを抽出中はそばを離れない。**  
事故の原因。  
禁止

**倒したり落したり、ぶつけるなど、本体に強い衝撃を与えない。**  
故障・破損の原因。

**使用中は抽出口付近から十分な距離をとり、顔や手を近づけない。**  
やけどの原因。

**本体にふきんなどをかぶせたりものをのせた状態で使用しない。**  
故障の原因。

 **変形・破損などの異常や故障と思われる状態では使用を中止する。**  
火災・感電・けがの原因。  
必ず行う


**使用前・使用後は必ず各 부품の点検を行う。**

**以下の場合には使用を止め、当社の点検・修理を必ず受ける。**


- ・製品に不具合、損傷がある。
- ・製品を床に落とした。
- ・製品が焦げ臭い、発煙する。


## 注意

### 電源プラグ・電源コード

 **動作していないことを確認してから電源プラグを抜き差しする。**  
感電・ショート・火災・発火・けがの原因。  
必ず行う

### 本体・パーツ

 **本製品は家庭用のため、業務用として使用しない。**  
変形・故障の原因。  
禁止

 **使用中に子供やペットをそばに近づけない。**  
けが・転倒・故障の原因。  
禁止

**使用中・使用直後に本体の移動・持ち運びはしない。**  
やけど・故障・けがの原因。

**酸性やアルカリ性の洗剤を使用しない。**  
破損・故障の原因。

**この取扱説明書に記載のない目的・方法で使用しない。**  
けが・事故の原因。

**金属製・ナイロン製のたわし・磨き粉・ベンジン・シンナー・漂白剤などを使用しない。**  
破損・故障の原因。

## ■ 本体・パーツ



**本体の隙間にピンや金属物などの異物を入れない。**  
感電・けがの原因。

**動作中は以下のことを必ず守る。**

- ・ホッパーへ手を入れない。
  - ・水タンクへ水を入れない。
  - ・水タンクを取り外さない。
  - ・内部ドリフトレイを外さない。
- けが・故障の原因。

**水タンクが空の状態で使用しない。**  
故障の原因。

**水タンクに水以外(お湯・牛乳・アルカリイオン水など)の液体を入れない。**  
ふきこぼれ・感電・故障・汚れ・焦げ付きの原因。

**水タンクに1.15L(MAXライン)以上の水を入れない。**  
ふきこぼれ・やけどの原因。



**ミネラルウォーターを使用した場合は、お手入れをこまめに行う。**  
故障の原因。

**ホッパーにコーヒー豆以外のものを入れない。**  
故障の原因。

**お手入れや点検は、子供だけで行わない。**  
けが・故障の原因



必ず行う

**必ず定期的にお手入れする。**  
故障の原因。

**排水トレイにたまった水はこまめに捨てる。**  
水が溢れて机や床が汚れる原因。

**お手入れは本体及びパーツが冷めてから行う。**  
やけどの原因。

**使用中に本体が異常に熱くなったり、異臭がしたりした場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く。**  
発火・故障の原因。

## ■ 設置・保管



**不安定な場所、滑りやすい場所、濡れている場所、キャビネット内、熱に弱い敷物の上では使用しない。**  
転倒、落下などによる破損・故障・けが・火災の原因。

**水分に弱い素材の上において使用しない。**  
机や床の汚れ、劣化の原因。

**屋外で使用しない。**  
故障の原因。

**水のかかりやすい場所では使用・保管しない。**

**直射日光・雨が当たる場所に置かない。**  
故障・変色の原因。



**本体の上に物をのせたり、落下しやすい場所に置かない。**  
発熱・発火・感電・けがの原因。

**ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わない。**  
変形・破損の原因。

**火気のそばで使わない。**  
変形・故障の原因。

**壁や家具、熱に弱いものの近くで使わない。**  
染み、変色、変形の原因。



必ず行う

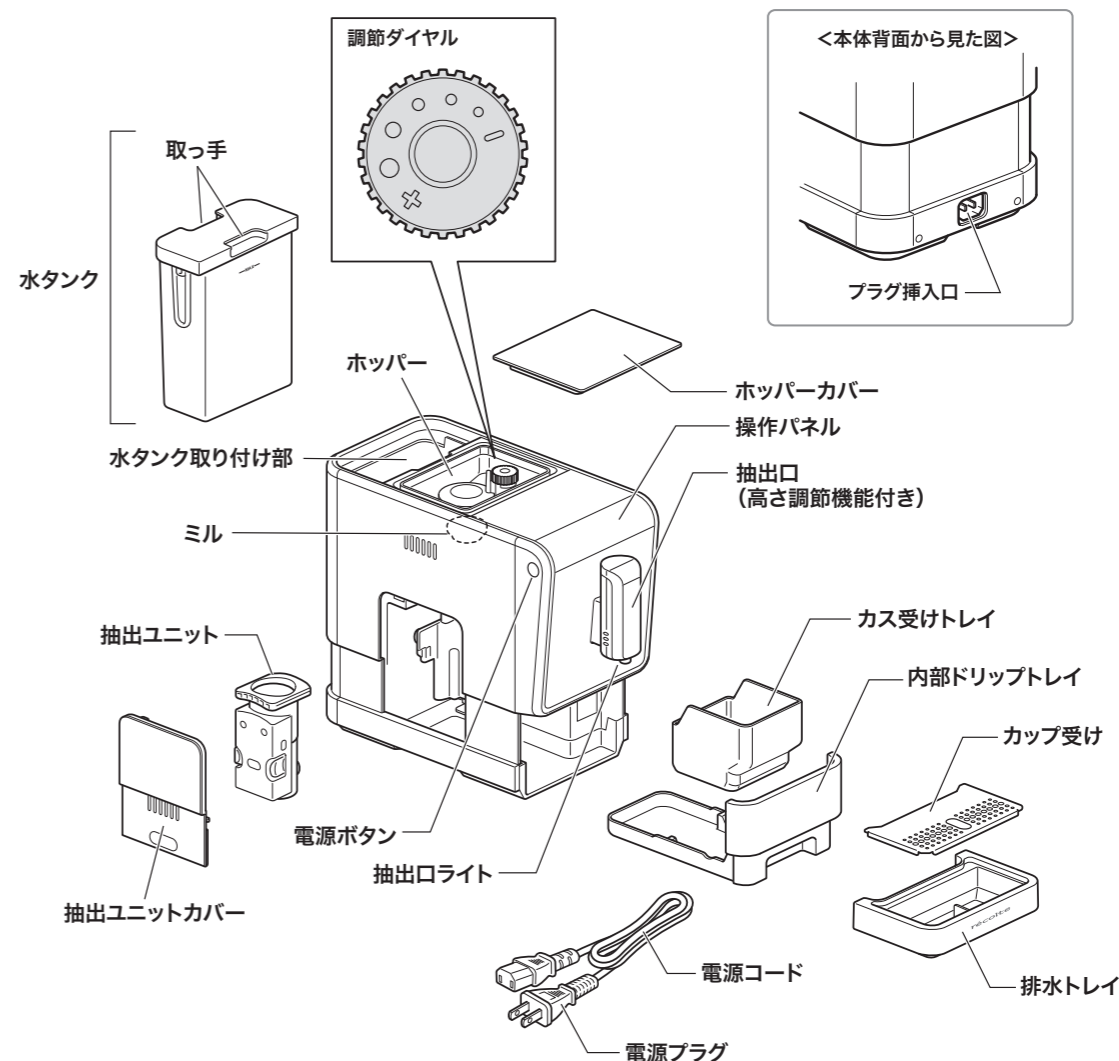
**10～40℃の場所で使用・保管する。**  
故障の原因。

**長期間使用しないときは以下のことを必ず行う。**

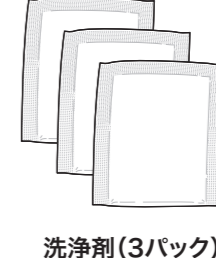
- ・お手入れを行う。
  - ・水抜きを行う。
  - ・コーヒー豆を使い切る。
  - ・水タンクの水を捨てる。
  - ・電源プラグをコンセントから抜く。
- 詰まり・においの発生・劣化・故障の原因。

## 各部(パーツ)の名称

パーツ、付属品をご確認ください



付属品



## 操作パネル・マーク

### エラーマーク

エラー状態になると点滅または点灯してお知らせします



### お手入れマーク



### 抽出モードボタン(タッチ式)



エラーマーク	1		給水マーク	点滅：水タンクが取り付けられていない ：水タンクの水が不足している
	2		コーヒー豆補充マーク	ホッパーにコーヒー豆が十分に入っていない
	3		コーヒーカス受けマーク	点滅：カス受けトレイが取り付けられていない 点灯：カス受けトレイにコーヒーカスがたまっている
	4		警告マーク	点滅：抽出ユニットカバーが取り付けられていない 点灯：抽出ユニットが取り付けられていない
お手入れマーク	5		内部洗浄マーク	内部洗浄タイミングのお知らせ
	6		水抜きマーク	本体内部の水を排出します
抽出モードボタン	7		Espresso ボタン	エスプレッソを抽出します
	8		Lungo ボタン	ルンゴを抽出します
	9		Americano ボタン	アメリカノを抽出します
	10		Favorite ボタン	設定したモード・抽出量で抽出します
	11		Hot water ボタン	約75度のお湯を抽出します

※LungoはEspresso1回分の豆に対して、2倍の水量で抽出します。  
※AmericanoはLungo抽出後にお湯を足します。

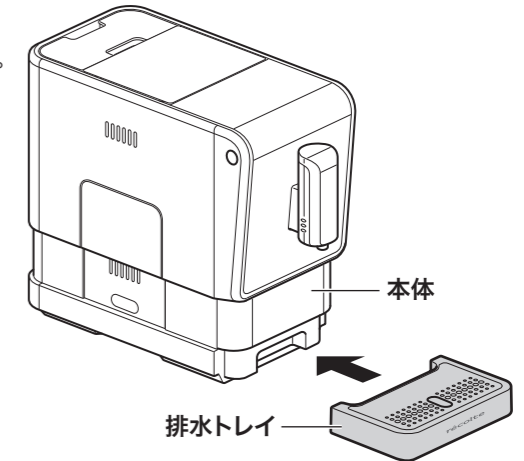
## 初めてご使用になる際、またはしばらく使わなかったときに

- 工場出荷時に水を使った検査をして性能を確認しています。まれに、本体内部に白い跡(水道水に含まれるカルキ)が付着していることがありますが、検査時の水の跡ですので、p.18にしたがって本体の内部を洗浄してからご使用ください。
- 水タンク底部の緩衝材を取り外して下さい。
- 保護フィルムを取り外してください。

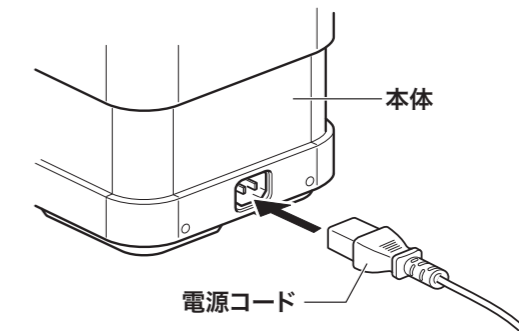
## ご使用前の準備

### 1 排水トレイを本体に取り付ける

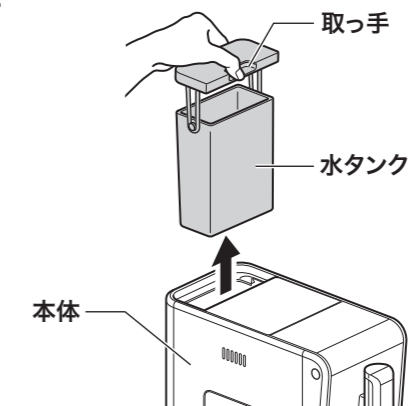
必ず排水トレイを取り付けてください。  
自動で抽出口すぎをする際に排水トレイに水がたまります。



### 2 電源コードを本体に接続し、電源プラグをコンセントに差し込む



### 3 本体から水タンクを取り外す

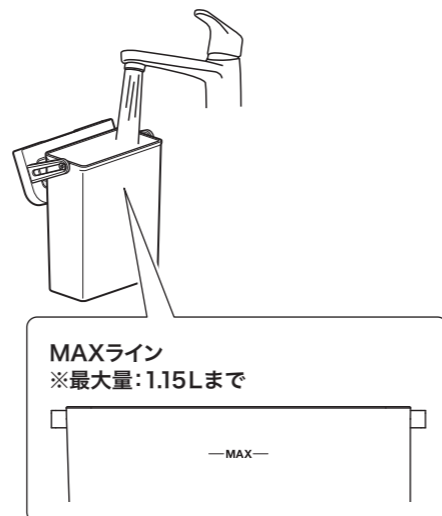


#### 4 水タンクに水を入れる

水タンクを水ですすぎ、MAXラインまで水を入れます。

##### ⚠ 注意

- 水タンクを本体に設置したまま水を入れない。水漏れの原因。
- 水タンクに水以外(お湯、熱湯、牛乳、炭酸水、アルカリイオン水など)の液体を入れない。故障の原因。
- MAXライン以上に水を入れない。ふきこぼれ・やけどの原因。



#### 5 水タンクを本体に取り付ける

##### ⚠ 注意

- 本体水タンク取り付け部に、コーヒー豆などの異物が入ったときは取り除く。抽出ができない原因。

#### 6 電源ボタンを押して電源を入れる

Hot Waterが点滅し、自動的に抽出口をすすぎ洗います。すすいだ水は排水トレイにたまります。

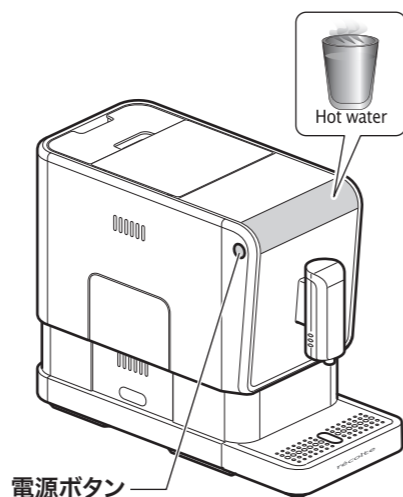
すすぎ洗い完了後、抽出モードボタンが点灯し、スタンバイモードとなります。

※しばらく待ってもお湯が出ない場合は、Hot Waterボタンを押してください。

※電源を切ってから短い時間で再度電源を入れた場合はすすぎ洗いはありません。

##### ⚠ 注意

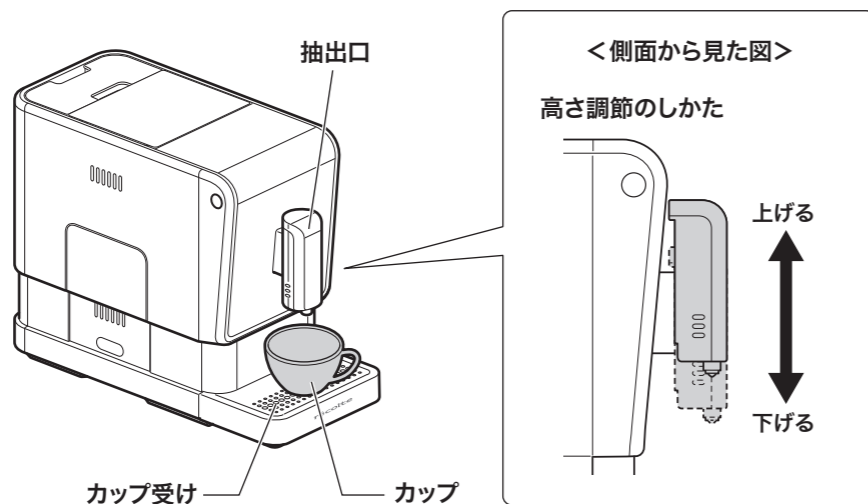
- 排水トレイにたまった水はこまめに捨てる。水があふれて机や床が汚れる原因。



電源ボタン

#### 7 カップ受けにカップを置く

抽出口の高さをカップに合わせて調節してください。



抽出口  
カップ受け  
カップ

## コーヒー / お湯のいれかた

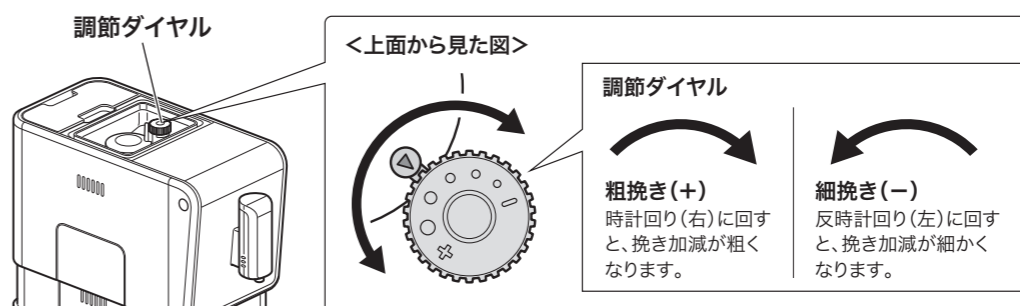
### コーヒー豆の入れかた

#### 1 本体からホッパーカバーを取り外す



#### 2 調節ダイヤルを回し、挽き目を調節する

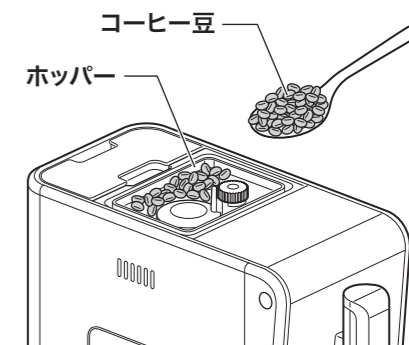
※挽き目の調節をするときは電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



#### 3 ホッパーにコーヒー豆を入れる

##### ⚠ 注意

- ホッパーにコーヒー豆以外(挽いたコーヒー豆、インスタントコーヒー、キャラメルコーヒーなど)を入れない。故障の原因。
- 過度に油分が多いコーヒー豆や、コーティングされたコーヒー豆は使用しない。ミルにコーヒー豆が入らない原因。







#### 4 ホッパーカバーを本体に取り付ける

## コーヒー・お湯の抽出方法

### 1 お好みの抽出モードボタンを押す(タッチする)

選んだ抽出モードボタンが点灯し、抽出を開始します。

抽出モードボタン	 Espresso	 Lungo	 Americano	 Hot water
抽出量初期設定	約30ml	約60ml	約150ml	約150ml

※お好みに応じて抽出量を変更することができます。(抽出量の設定変更はp.10)  
連続して抽出するときは、**Hot water**も含め、1時間に5杯以内にしてください。  
抽出回数が多いと故障の原因となります。  
※抽出量初期設定は目安です。

### 2 必要に応じてお手入れをする(p.14~22)

カス受けトレイに入っているかすは定期的に捨ててください。  
排水トレイにたまったお湯は定期的捨ててください。  
※残った水タンクの水を捨ててください。

#### ⚠ 注意





- 必ず定期的にお手入れする。  
カビ・腐敗・故障の原因。

## 抽出量の設定

各モードの抽出量の設定を変更することができます。

### 1 変更する抽出モードボタンを押す

選んだ抽出モードボタンが点灯し、抽出を開始します。

抽出モードボタン	 Espresso	 Lungo	 Americano	 Hot water
抽出量初期設定	約30ml	約60ml	約150ml	約150ml
設定範囲	約25~250ml			

※設定範囲の中でお好みの量に設定できます。

### 2 抽出が開始する前に、選択した抽出モードボタンを長押しし続ける

抽出が継続されます。

### 3 お好みの量に達したら抽出モードボタンから指をはなす

抽出が停止します。  
ブザーが鳴り、抽出停止時の抽出量に設定変更されたことをお知らせします。  
お知らせ後、スタンバイモードになります。  
※アメリカーノの場合は抽出モードボタンを長押しし続け、コーヒーの量がお好みになったら一度指をはなし、再度長押しし続けてお湯の量を調節してください。  
以降は設定した抽出量で抽出されます。

#### 抽出量の設定の解除のしかた

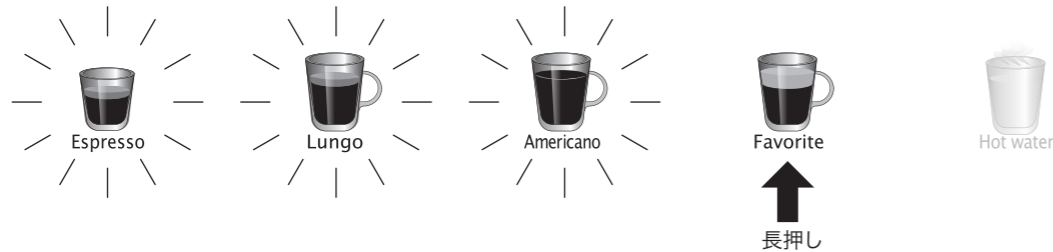
- ① スタンバイのときに電源ボタンを約5秒長押しする  
Espresso、Lungo、Hot waterが表示されます。
- ② 内部ドリップトレイを取り外し、再度取り付ける

## Favorite設定

Espresso、Lungo または Americano を好みの抽出量に設定することができます。

### 1 を約2秒長押しする

Espresso、Lungo、Americano が点滅します。



### 2 設定したい抽出モードボタンを押す

押したモードのコーヒーが抽出されます。



### 3 コーヒーの抽出が開始する前に、選択した抽出モードボタンを長押しし続ける

抽出が継続されます。

※ミルの動作音がしたときが長押しを開始する目安です。

### 4 お好みの量に達したら抽出モードボタンから指をはなす

抽出が停止します。

ブザーが鳴り、抽出停止時の抽出モードと抽出量が **Favorite** に設定されたことをお知らせします。



お知らせ後、スタンバイモードになります。

※アメリカーノの場合は抽出モードをボタンを長押しし続け、コーヒーの量がお好みになったら一度指をはなし、再度長押しし続けてお湯の量を調節してください。

以降は設定した抽出量で抽出されます。

## その他の機能

### プログラム設定

プログラム	ノーマル	スピード	エコ
対応する抽出モードボタン	 Lungo	 Espresso	 Hot water
抽出口ライト	ON	ON	OFF
蒸らし機能※1	あり	なし	あり
自動電源OFF機能※2	約20分後	約30分後	約10分後

#### ※1:蒸らし機能

完全に抽出する前に挽いた豆を蒸らします。

コーヒー豆から油分と風味が抽出されやすくなります。

#### ※2:自動電源OFF機能

コーヒー抽出後、設定時間を経過すると自動で電源をOFFにします。

### 1 スタンバイモードのときに、電源ボタンを約5秒長押しする

Espresso、Lungo、Hot water が表示され、設定されているプログラムが点灯し、他は点滅します。



### 2 設定したいプログラムに対応した抽出モードボタンを押す

ブザーが鳴り、プログラムが選択されたことをお知らせします。

※約5秒放置するとスタンバイモードになります。

<ノーマル>



<スピード>



<エコ>



## エラーマーク表示 / 解除

エラー状態になるとエラーマークが点滅または点灯してお知らせします。  
点滅または点灯したら、エラー解除をしてください。エラーが解除されると消灯します。

### 給水マーク

- 点滅** 水タンクが取り付けられていない。  
→水タンクを取り付けてください。(p.7)  
水タンクの水が不足している。  
→水タンクへ水を入れてください。(p.6)

※給水マークが点灯したとき、水タンクには少量の水が残っていますが異常ではありません。



### コーヒー豆補充マーク

- 点滅** ホッパーにコーヒー豆が十分に入っていない。  
→コーヒー豆を入れてください。(p.8)



### コーヒークラス受けマーク

- 点滅** カス受けトレイが取り付けられていない。  
→カス受けトレイを取り付けてください。(p.15)  
**点灯** カス受けトレイにコーヒークラス(約10杯分)がたまっている。  
→コーヒークラスを捨ててください。(p.15)

※内部ドリフトレイを取り外すと抽出回数のカウントはリセットされます。取り外したら必ず排水トレイにたまった水とコーヒークラスを捨ててください。

※電源をOFFにしてから内部ドリフトレイを取り外すと、抽出回数のカウントはリセットされません。



### 警告マーク

- 点滅** 抽出ユニットカバーが取り付けられていません。  
→抽出ユニットカバーを取り付けてください。(p.16~17)  
**点灯** 抽出ユニットが取り付けられていません。  
→抽出ユニットを取り付けてください。(p.16~17)



## お手入れのしかた

### ▲ 注意

- 必ず定期的にお手入れしてください。  
特に抽出後に長期間お手入れしないとカビ・腐敗・故障の原因になります。
- 金属製・ナイロン製のたわし・磨き粉・ベンジン・シンナー・漂白剤などを使用しない。  
変形・変色・表面に傷がついたり、故障の原因。
- アルコール・化学洗剤などは使用しない。  
変形・変色・表面に傷がついたり、故障の原因。
- 本体を丸洗いしたり、電源プラグに水分を付着させない。  
ショート・感電・故障の原因。
- 食器洗い食器洗浄機や食器乾燥機、熱湯などは使用しない。  
変形・変色・故障の原因。
- 水洗いした後の部品はしっかり乾かす。  
カビ・故障の原因。

### ■ 水洗いできるもの

- ホッパーカバー・水タンク・抽出ユニット・抽出ユニットカバー・排水トレイ・カップ受け・内部ドリフトレイ・カス受けトレイ

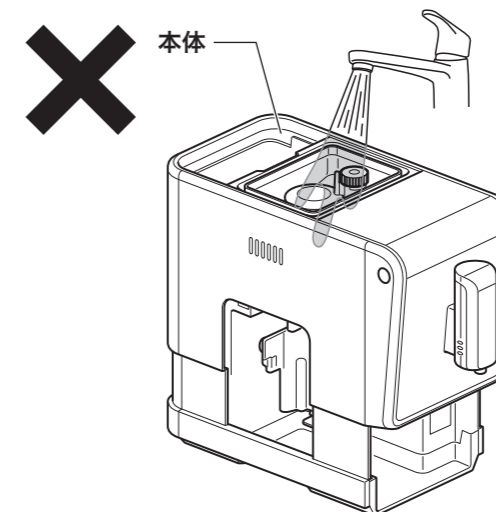
台所用中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジや、付属のクリーニングブラシなどで洗ってください。  
よくすすいだ後、乾いたやわらかい布などで水気を取ってください。

### ■ 水洗いできないもの

- 本体

クリーニングシートなどのやわらかい布で外観を拭いてください。

汚れがひどい場合は水で薄めた台所用中性洗剤を含ませたやわらかい布などで拭き取り、乾いたやわらかい布などで水気を取ってください。



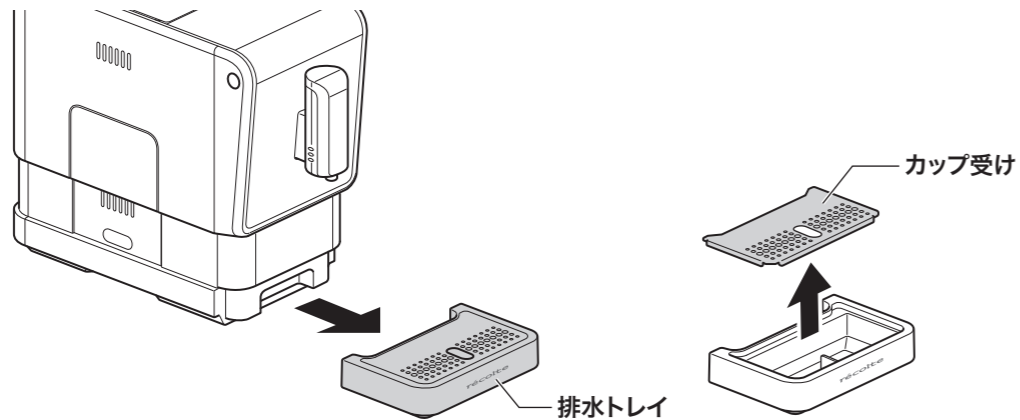
## 排水トレイ、カップ受け、内部ドリフトレイ、カス受けトレイのお手入れ

### 1日の終わりに必ず行ってください。

お手入れしないとカビ・腐敗・故障の原因になります。

#### 1 排水トレイを取り出し、カップ受けを取り外す

排水トレイの水を捨ててください。



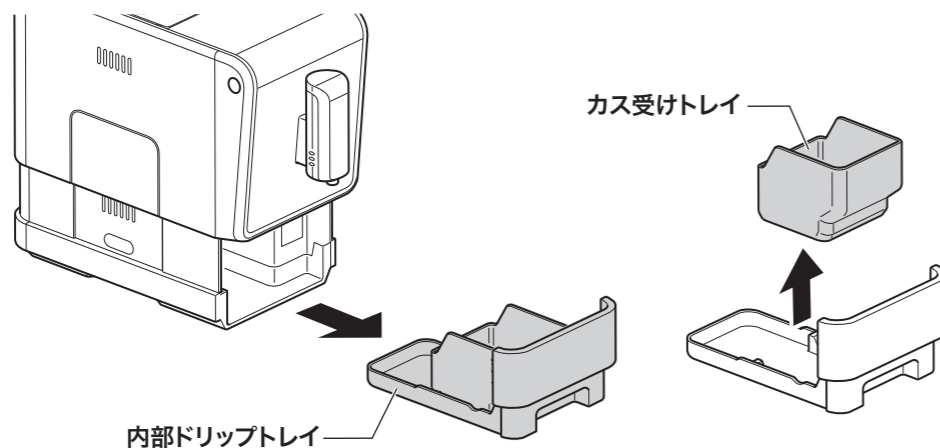
#### 2 内部ドリフトレイを取り出し、カス受けトレイを取り外す

カス受けトレイにたまったコーヒーカスを捨ててください。

※静電気によりコーヒーカスが内部ドリフトレイの奥や、本体に付着していることがあります、異常ではありません。

※内部ドリフトレイを取り外すと抽出回数のカウントはリセットされます。取り外したら必ず排水トレイにたまった水とコーヒーカスを捨ててください。

※電源をOFFにしてから内部ドリフトレイを取り外すと、抽出回数のカウントはリセットされません。



#### 3 排水トレイ、カップ受け、内部ドリフトレイ、カス受けトレイを水洗いする

洗った後はしっかり乾燥させてください。

水分やコーヒーカスが残っているとカビの原因になります。

#### 4 排水トレイ、カップ受け、内部ドリフトレイ、カス受けトレイを取り付ける

取り外しと逆の手順で取り付けてください。

※カス受けトレイが正しく取り付けられていないと ☒ が点滅します。

## 抽出ユニット、本体内部のお手入れ

### 1か月に1回は必ずお手入れしてください

ご使用頻度によって、こまめにお手入れしてください。

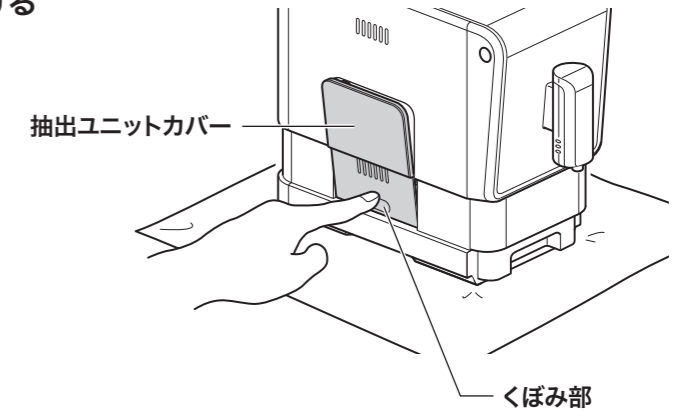
お手入れしないとカビ・腐敗・故障の原因になります。

コーヒーカスが飛び散るため、本体を布や新聞紙などの上に置いて行ってください。

お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体やパーツが十分冷めてから行ってください。

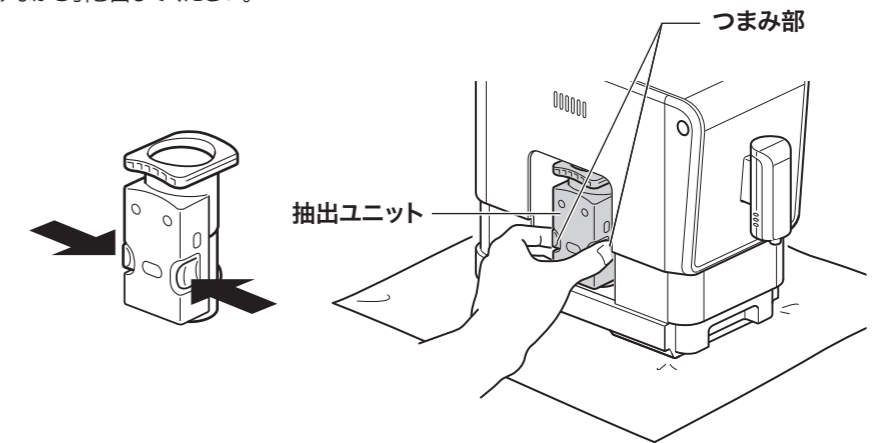
#### 1 抽出ユニットカバーを開ける

くぼみ部を押して取り外してください。



#### 2 抽出ユニットを取り外す

つまみ部をつまみながら引き出してください。



#### 3 抽出ユニットを水洗いする

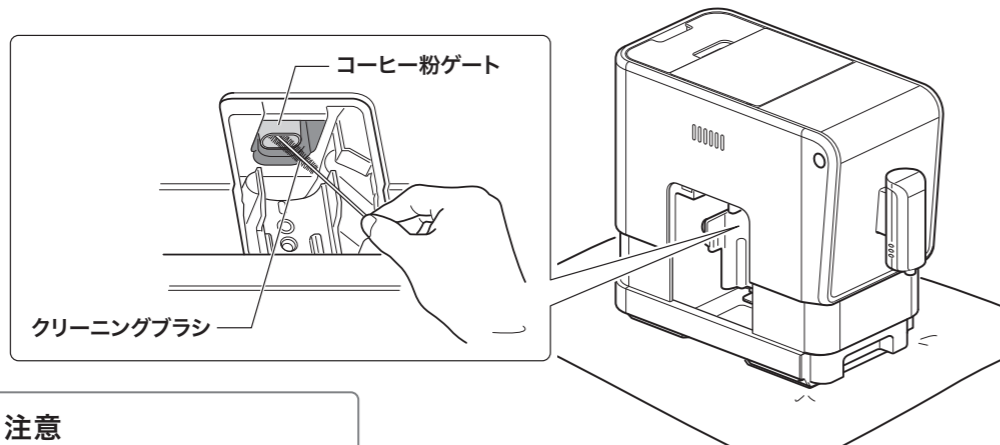
洗った後はしっかり乾燥させてください。

水分やコーヒーカスが残っているとカビの原因になります。



#### 4 コーヒー粉ゲート付近をお手入れする

付属のクリーニングブラシでゲート付近のコーヒーカスを取り除いてください。  
※コーヒーカスはゲート内部だけでなく、周囲にも付着していることがあります。

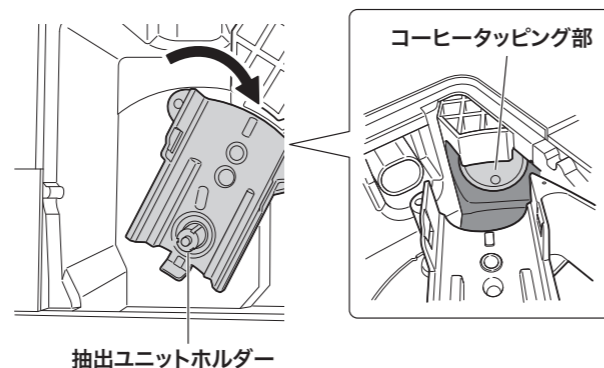


##### ⚠ 注意

- 必ず定期的にお手入れしてください。

#### 5 抽出ユニットホルダーを回し、コーヒータッピング部付近をお手入れする

付属のクリーニングブラシでコーヒータッピング部付近のコーヒーカスを全体的に取り除いてください。  
※コーヒーカスはコーヒータッピング部の内部だけでなく、周囲にも付着していることがあります。  
抽出ユニットホルダーは必ず清掃後に元の位置(取り外した時の位置)に戻して戻してください。

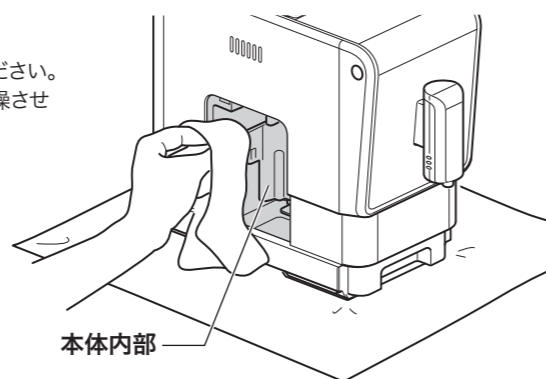


##### ⚠ 注意

- 抽出ユニットを取り付けたまま抽出ユニットホルダーを動かさない。故障の原因。

#### 6 本体内部をお手入れする

やわらかい布などを使用して、本体内部を清掃してください。  
本体内部は、抽出ユニットカバーを閉める前によく乾燥させてください。  
※クリーニングシートは使用しないでください。



#### 7 抽出ユニット、抽出ユニットカバーを取り付ける

※抽出ユニットはカチッと音がするまでしっかり取り付けてください。  
抽出ユニットが正しく取り付けられていないと△が点灯します。(p.13)  
抽出ユニットカバーが正しく取り付けられていないと△が点滅します。(p.13)

### 内部洗浄方法

⌚ が点灯したら行ってください。

抽出ユニット、本体内部のお手入れも同時に行ってください。(p.16~17)

初めて使用するとき、またはしばらく使わなかったときも内部洗浄を行ってください。

#### 内部洗浄マーク



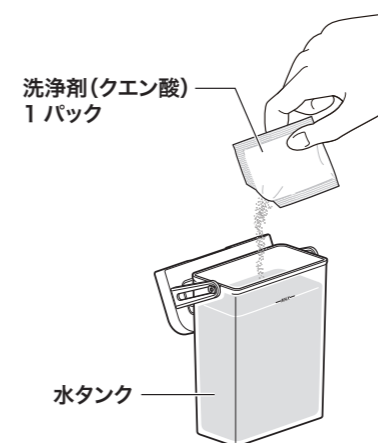
#### 1 水タンクのMAXラインまで水を入れる

##### 内部洗浄マーク ⌚ が点灯したとき

水タンクに付属品の洗浄剤(クエン酸)1パックを加えてよく溶かす

##### ⚠ 注意

- 付属品の洗浄剤をご使用ください。  
酢やその他の洗浄剤を使用しない。  
破損の原因。

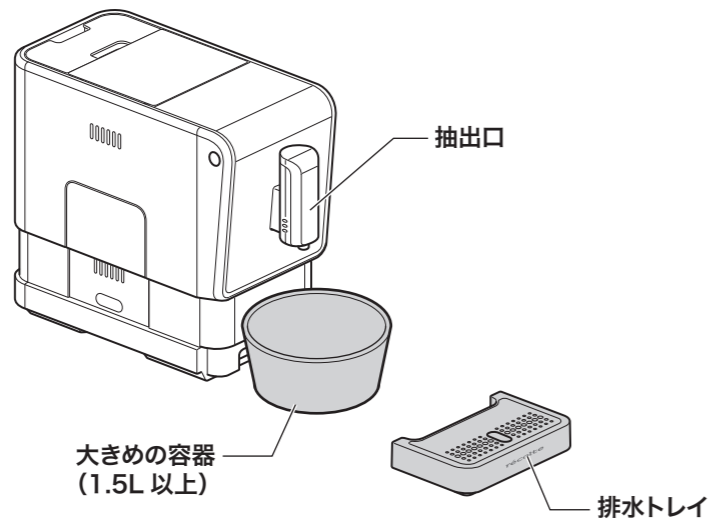


##### ⚠ 注意

- 水タンクを本体に設置したまま水を入れない。  
水漏れの原因。
- 水タンクに水以外(お湯、熱湯、牛乳、炭酸水、アルカリイオン水など)の液体を入れない。  
故障の原因。
- MAXライン以上に水を入れない。  
ふきこぼれ・やけどの原因。

#### 2 水タンクを本体に取り付ける

### 3 排水トレイを外し、大きめの容器(1.5L以上)を抽出口の下に置く

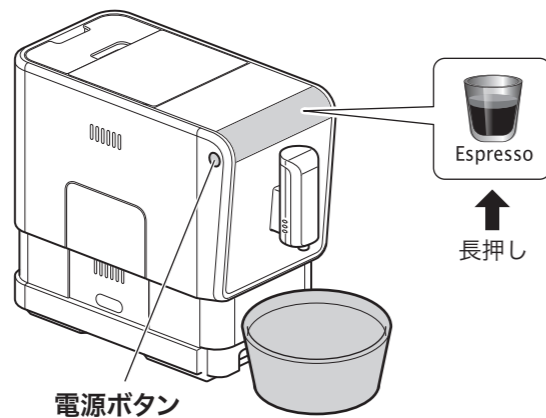


### 4 電源ボタンを押して電源を入れる

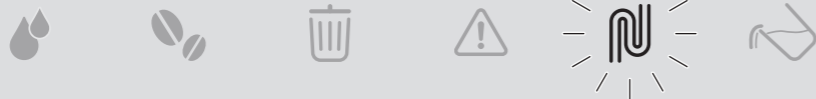
Hot water が点灯し、抽出口をすすぎ洗います。  
すすいだ後、ディスプレイの抽出モードボタンが全点灯し、スタンバイモードになります。  
※電源を切ってから短い時間で再度電源を入れた場合はすすぎ洗いはありません。

### 5 スタンバイモード時に電源ボタンと Espresso を同時に約5秒長押しする




ブザーが鳴り、Espresso と  が点滅します。



#### 内部洗浄マーク



### 6 を押して内部洗浄をする

 が点滅し、抽出口よりお湯が断続的に出ます。  
洗浄中に水タンクが空になると、 が点灯し、 と Espresso が点滅します。  
※電源ボタンを押すと、スタンバイモードに戻ります。


#### ⚠ 注意

- 内部洗浄中はそばを離れない。  
事故の原因。
- 排出されたお湯には直接触れない。  
やけどの原因。

### 7 空になった水タンクを取り外し、水タンク内部を洗う

水タンクの中に残った洗浄剤を洗い流してください。

### 8 水タンクのMAXラインまで水を入れ、本体に取り付ける

 が点灯、Espresso が点滅し、流水経路に残った洗浄剤を排出します。  
洗浄完了後、自動的に電源がOFFします。

#### ⚠ 注意

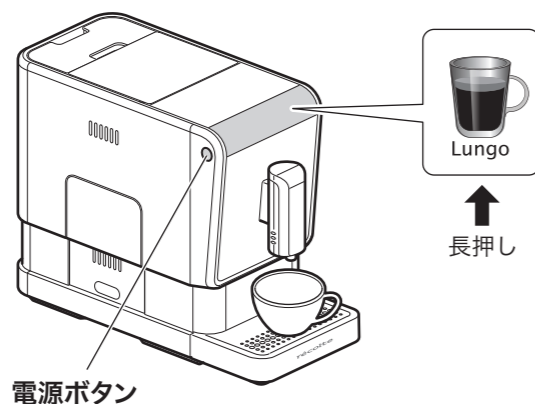
- MAXライン以上に水を入れない。  
やけど・けが・故障の原因。

### 9 大きめの容器にたまった排出されたお湯を捨てる

## 水抜き

長期間使用しないとき、修理を依頼する場合は本体の水抜きをしてください。

### 1 スタンバイモード時に電源ボタンと を同時に約5秒長押しする



 が点滅します。

#### 水抜きマーク



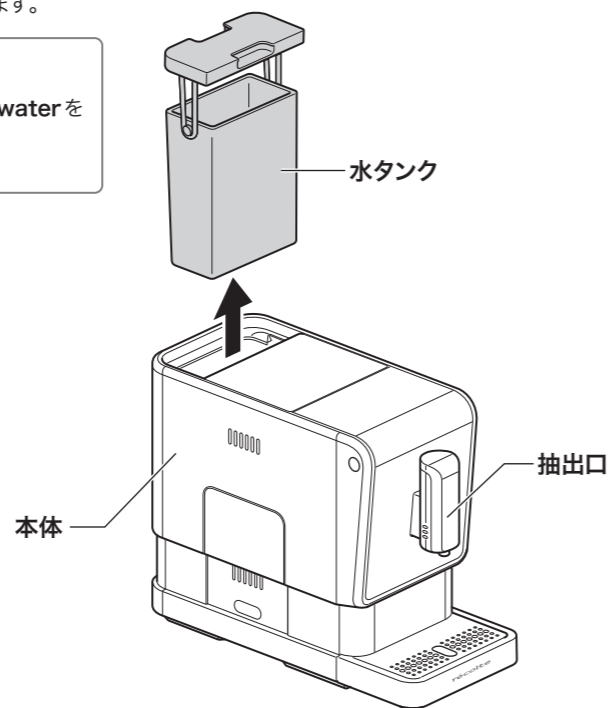
### 2 本体から水タンクを取り外す

 が点灯し、抽出口から本体内部の水が排出されます。

※水タンクを取り外す前に電源ボタンを押すと、スタンバイモードに戻ります。  
内部が空になると自動的に電源OFFになります。

#### ⚠ 注意

- 水抜きした後に再度使用する際は、Hot water を押して必ず水通しをする。  
故障の原因。

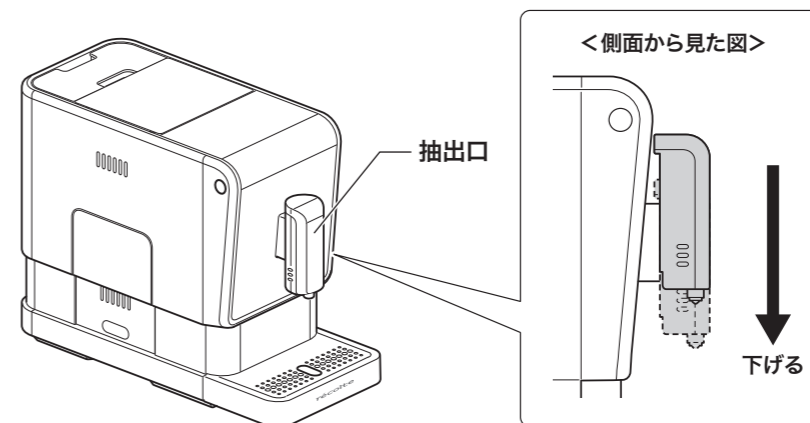


## 抽出口すすぎ

お好みで抽出口のすすぎができます。

排水トレイに水がたまっていないことを確認してから行ってください。

### 1 抽出口を一番下に下げる



### 2 スタンバイモード時に電源ボタンと を同時に約5秒長押しする

Hot water が点滅し、抽出口をすすぎ洗います。

お湯は抽出口下の排水トレイにたまります。

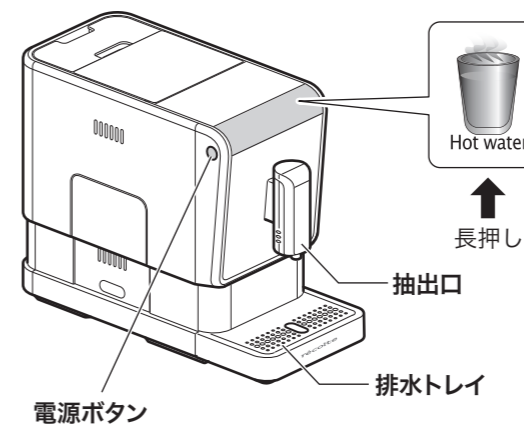
すすぎ完了後、スタンバイモードになります。

※すすぎ洗いをしたお湯が排水トレイに当たり、少量のお湯が跳ね返ることがあります。

気になる場合はカップ(容量200ml以上)を置いてから行ってください。

#### ⚠ 注意

- 抽出されるお湯には触れない。  
やけどの原因。
- 排水トレイに水がたまっていないことを確認してから行う。  
やけど・故障の原因。



### 3 排水トレイにたまったお湯を捨てる

## 故障かな?と思ったら

修理の依頼をされる前に、下記内容をご確認ください。  
問題が解決しない場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

症状	主な原因	対処方法
動作しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントにしっかり差し込む
操作パネルのボタンを押しても(タッチしても)反応しない、反応が遅れる	操作パネルが汚れている	やわらかい布でパネルの汚れを落とす
	保護フィルムが貼られている	保護フィルムをはがす
	ボタンを押す角度が適切ではない	ボタンをまっすぐ上から押す(タッチする)
コーヒーが熱くない	カップが冷たすぎる	常温のカップを使用する
コーヒー・お湯が出ない、抽出が遅い	以前に水抜きをしている	抽出口からお湯が出るまでHot waterを押す (p.9)
	水タンク底部の緩衝材を取り外していない	緩衝材を取り外す
	水タンク取り付け部にコーヒー豆などの異物があり、本体にしっかり取り付けられていない	異物を取り除く
コーヒーの抽出が遅い、または一滴ずつしか抽出されない	内部ドリフトレイにコーヒーカスが蓄積されている	カス受けトレイ、内部ドリフトレイ、抽出ユニット、コーヒー粉ゲート付近を清掃する (p.15~17)
	コーヒー粉ゲート付近が詰まっている	カス受けトレイ、内部ドリフトレイ、抽出ユニット、コーヒー粉ゲート付近を清掃する (p.15~17)
	ミルの挽き目を細挽きにすぎている	挽き目を少し粗くする
	抽出口を上げすぎている	抽出口を少し下げる
最初のコーヒーが薄い	抽出ユニットに十分な量のコーヒー粉が供給されていない	抽出されたコーヒーを捨て、もう一度やりなおす コーヒー粉ゲート付近を清掃する。(p.17)
ホッパーにコーヒー豆が十分あるが、コーヒー豆補充マークが点滅する	内部の抽出ユニットの排出口が塞がっている	カス受けトレイ、内部ドリフトレイ、抽出ユニット、コーヒー粉ゲート付近を清掃する (p.15~17)
	過度に油分が多いコーヒー豆や、コーティングされたコーヒー豆を使用しているため、油分がホッパーに付着したり、コーヒー豆同士がくっついたりし、ミルに入っていない	過度に油分が多いコーヒー豆や、コーティングされたコーヒー豆は使用しない ホッパーに付着した油分などは乾いた布などで拭き取ってください
抽出ユニットが取り付けられない	抽出ユニットホルダーの位置がずれている	電源を入れなおし、抽出ユニットホルダーの位置を戻す (p.16の抽出ユニットを取り外した状態)
温まるまで時間がかかりすぎる	内部ドリフトレイにコーヒーカスが蓄積されている	内部ドリフトレイのコーヒーカスを捨てる (p.15)
水タンク内の水が不足しているが、給水マークが表示されない	本体水タンク取り付け部に水が漏れている	本体水タンク取り付け部の水を拭き取る

症状	主な原因	対処方法
内部ドリフトレイに水がたまる	調節ダイヤルの設定が細かすぎてお湯が出ない	調節ダイヤルを粗く設定する (p.8)
コーヒーカス受けマークがすぐに点灯する	電源をOFFにしてから、カス受けトレイのお手入れをしている	電源を入れたままお手入れをする 電源をOFFにしてから内部ドリフトレイを取り外すと、抽出回数のカウントはリセットされません (p.13)
内部洗浄をしても内部洗浄マークが点滅しつづける	内部洗浄が完了していない	内部洗浄が完了して、電源が自動的にOFFになるまで待つ

### 製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター **TEL.03-6662-7100**

受付時間 10時~12時/13時~16時(土日祝日を除く)

〒125-0062  
東京都葛飾区青戸4-18-12 ソーケンビル4F

カスタマーセンター  
<https://recolte-jp.com/support/>



### 部品・消耗品のご購入

レコルト公式オンラインショップ・カスタマーセンター、または製品をお買い上げいただきました販売店にお問い合わせください。

カスタマーセンター  
<https://recolte-jp.com/support/>



## 仕様

品名	全自動エスプレッソコーヒーマシン
品番	REC-1
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	1350W
商品サイズ	約18.0(W)×40.2(D)×31.5(H)cm
重量	約8.0kg
ホッパー容量	約160g
水タンク容量	約1.15L(MAXライン)
主な材質	ABS樹脂、ポリカーボネート
コード長	約1m
付属品	クリーニングブラシ、クリーニングシート、洗浄剤(3パック)
生産国	中国

※仕様、デザインは商品改良のため予告なく変更することがあります。

